

# いっぽん質問

行政の考え方を問う



岩永利勝議員  
稲築平東地区の豪雨災害について

10P

廣方悟議員

国道322号八丁峠トンネル開通に合わせた夢と希望のあるまちづくり構想の策定について

10P

山倉敏明議員  
老朽化した危険家屋の対策について

11P

北富敬三議員

白門井堰から上三緒に流れている水路について 11P

田中義幸議員  
デジタルSTB設置工事について

12P

森裕治議員

嘉麻市農業政策について

12P

藤伸一議員  
空き家対策について

13P

宮原由光議員

熊ヶ畑地区の産業廃棄物最終処分場について 13P

赤間幸弘議員  
通学路及び学校施設の安全対策について 14P

田中日本明議員

庁舎建設について

14P

山本幹雄議員  
遠賀川内の固定堰の改修について

15P

田淵千恵子議員

教育行政について

15P

紙面の都合により、いっぽん質問の内容を680字以内でまとめています。

## 廣方 悟 議員

## 国道322号八丁峠トンネル開通に 合わせた夢と希望のあるまちづくり 構想の策定について

### 問. トンネル開通を見据えた 新しいまちづくり構想を 策定すべき

答. またとないチャンス。  
きちんと計画を立て  
大きく前進するよう努める。

**質** 八丁峠トンネル開通に合わせて新しいまちづくりの展開が十分可能となる。そこでトンネル工事の概要と甘木ICから嘉麻警察署までの所要時間は。

具体的にもつと前へ進めるべきである。  
**田中産業振興課長 高**  
速インターへの時間などから322号沿線の嘉穂地域に工場団地構想を位置づける。

**質** 八丁峠トンネルは  
筑豊地域で唯一県南地域との多方面の窓口となり、農産物の販売拠点や新たな商業施設の可能性について検討すべき。  
**産業振興課長** 新たな道の駅構想や水資源を生かした施策などを検討する。

の広域交流やそれを主導する地域の力など県南東部から取り入れるべきである。



廣方議員

岩永利勝議員

## 稻築平東地区の豪雨災害について

#### 問. 舗装・側溝などの 損壊箇所の対策は

答. 詳細な調査を行い、  
実施していく

質 7月14日の豪雨災害では、床下・床上浸水被害が、市全体で431件と報告され、この中に稲築平東地区も含まれている。この地域は、山あいからの大水により床下に流れ込んだ土砂等や、側溝等に堆積した土砂を、地元の方が協力して掃除されていたが、土砂が流出した山林の所有者との協議や要請は行つたのか。

流には3つの谷があり、山林所有者から承諾をして、県に要望しております。早急な対応が必要と考えておる。

**質** 今回の豪雨災害で舗装や側溝などが損壊している箇所が相当目受けられるので、早急に調査してもらいたい。

**山口土木課長** 平東地区の被害箇所を確認したところ、舗装や水路等の損傷は、地下水による陥没ではないかと思われる。山から谷に流れ、平地に向かつて地下水が湧き上がっていると推測される。

**質** 地下水による損傷であれば、強固な地盤

や地下水の対策が必要ではないか。  
**土木課長** 詳細に調査し実施していきたい。  
**質** 同じ行政区内の毛洗い場ため池から農業用水が溢れ出し、床に浸水被害が発生したが、今後の対策は。  
**農林整備課長** 農事長会の中で、ため池等の農業施設全般については、調整池的な活用も含めた管理をお願いしたい。また、地元行政区長にも再度報告し



豪雨被害のあった平東地区

## いつばん質問

北富 敬三 議員

## 白門井堰から上三緒に流れている水路について

問. ラバーダムの水位を下げることができないのか

答. 十分調査して、  
飯塚市と協議したい



北富議員

**質**　白門井堰、上三緒に流れている用水路の管理は飯塚市で、管轄事務所は遠賀川河川工事事務所となつていて、洪水の障害となつたため、可動堰に改修した井堰でラバーダムという。そこで井堰の水位を下げることはできないか。

**質** 大雨の時、井堰が早く落ちれば、鴨生の平野医院付近、西岩崎稲築支所裏の水が流れ浸水がなくなると考える。今現在、水位が1m下がっているが、浄水場の吸水は問題ないと聞いている。そこで自動のフロートスイッチを50cmでも下げてやれば水害が少なくなると思うがどうか。

JR後藤寺線法面境界について 質 JR後藤寺線が稲築山野を通っているが市道と線路の間に水路があるが、どこが管理しているのか。

農林整備課長 これは農業用水なので、農林整備課が管理している

質 JRの法面だと思うが、草木が水路に覆いかぶさり、歩道の方まで出て、一度環境課を通じてJRにお願い

し、除草してもらつた  
しかし、まだ大きな木  
が茂つており、地元は  
不安に思つてゐる。こ  
の件も環境課にお願い  
していたが、その結果  
は。



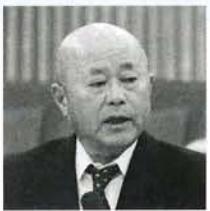
草木が繁茂しているJR後藤寺線敷

山倉 敏明 議員

## 老朽化した危険家屋の対策について

問. 条例化する意思があるのか

答. できるだけ早急に条例化  
する必要があると考えている



山倉議員

**質** 所有者の転居や死  
亡等の理由で、不完全  
な管理のまま長年放置  
されていることにより、  
空き家は廃屋となり、  
周辺住民の生活環境を  
著しく損なつており、  
雑草の繁茂、動物の住  
みつき、倒壊や建材の  
飛散の恐れ等老朽化し  
た空き家は地域社会に  
対して不安と危険をも  
たらしており、これが  
老朽危険家屋であると  
思われる。わが市の空  
き家の現状、または危

福田総務課長 平成20年10月の住宅土地統計調査によれば、空き家軒数が2870軒、腐朽、汚損等の住宅が880軒という状況。空き家に対する苦情件数は平成24年4月から11月末まで31件である。質問の内容はどうなものか。

のが9件、火災等の心配が6件、瓦等の落下の心配が5件と、倒壊家屋に対する心配等の相談件数が多かつた。

**質** 危険家屋に対する対応はどうなつてているのか。

**総務課長** 個人の財産なので、行政がどこまで関与できるか、法的な根拠、公費支出の是非等の課題があるが、関係各課で連携を取り所有者に文書で改善をお願いしている。

**質** 飯塚市は条例を制定し、平成25年4月から施行するよう対処されているが、わが市は条例化する意思はあるのか。

**総務課長** 担当課を明確にして、条例についての考え方、法的整合性、市が抱える課題問題点の整理を含めできるだけ早急に条例化の必要があると考えている。

※この他に節電対策（LED化）、自然工



エネルギーについて質問しました。

## 森 裕治 議員

嘉麻市農業政策について

問. 後継者対策に  
具体的策はあるのか

答. 様々な制度の活用を推進したい



森議員

質 現在の兼業・専業農家の戸数は、農家の戸数は。

質 産業振興課長 23年度の農業委員会の調査で荒れている分は農地と

質 産業振興課長 利用された人はいない。

質 産業振興課長 (詳しい事業内容は担



## 田中 義幸 議員

デジタルSTB設置工事について

問. 設計通りしていないなら減額請求、被害届けを想定すべきだ

答. 設計変更せずに係が指示して行った



田中議員

質 私が調査した中では、同軸ケーブル、接栓、分配器が交換されていなかつた。

質 設計通りしていないなら、減額請求しなければならない。それに応じないなら被害届けを想定すべきだ。それには相談に行つた。

質 CATV担当参事 業計増で、逆に業者が手出しした。CATV担当参事 設計増で、逆に業者が手出しした。

質 産業振興課長 1回のデータだが間違いないなく減っていると認識している。



デジタルセットトップボックス

質 国政のひとつ問題点になつてているTPについて、今の段階での考え方。

質 農業が中心の市なので全てがフリーでは困る。国の支援策が不十分なままでこれが大きな打撃を受けた。したがつて条件をつけるべきところはつける。

質 現在の兼業・専業農家の戸数は。

質 農家戸数は全体で減っているのか。

質 農業が252戸、兼業農家が734戸になっている。

質 農家戸数は全体で減っているのか。

質 農業農家が734戸になつていて、松岡市長の考え方。

質 農業農家が734戸になつていて、松岡市長の考え方。

質 農業農家が734戸になつていて、松岡市長の考え方。

質 現在の業務委託業者が試算した結果、FTTH方式だと更に9億円上がると発表された。その後、委員会や市長が調査した結果、コスト面も含めて、F

質 産業振興課長 5年に1回のデータだが間違いないなく減っていると認識している。

質 産業振興課長 実際、彼らの支援事業は利用されていなかった。それは、実際、彼らの支援事業は利用されていなかった。

質 産業振興課長 5年間に1回のデータだが間違いないなく減っていると認識している。

質 産業振興課長 実際、彼らの支援事業は利用されていなかった。

質 産業振興課長 実際、彼らの支援事業は利用されていなかった。

※他に「偽装請負」「社会福祉協議会と共同募金会」の件で質問。

# いこばん質問

## 宮原由光議員

熊ヶ畠地区の産業廃棄物最終処分場について

### 問. 業者説明会の開催と福岡県に不許可の申し出を

答. 国・県に、この産廃行政を検討し住民の不信感を払しょくすることを求めている。



宮原議員

**質** 心配していた石炭採掘跡に発生する被害が尾浦地区で発見された。処分場から約500mの位置に、3mの円形で深さ3~4mの規模で、土地と倉庫が被害に遭っている。坑口からの浸透水と廃棄物の地下への流失が問題である。このような状況から大規模な拡張計画に反対している。

本來なら即刻営業を停止してもらいたいが、この処分場は平成24年

12月26日まで許可を受けている。市民が安全・安心の生活を守るために、業者説明会を開催及び福岡県に不許可の申立をしている。市長は県知事に対し、明確に反対の意思を表明してもらいたい。

**松岡市長** 特に今、違法・違反と出たとき、許認可権者の県がすぐに対応しないことが、住民の不信感に繋がっている。国や県に対し、この産廃行政には検討

**平嶋環境課長** 坑口は、県が現在調査中。地下水調査は、許認可権者の県が行うか、市単独で行うか、再度検討・協議の上考えたい。

**宮原議員**

が安心して暮らせるよう、うな部分の一助となる条例を制定すべきと考えている。

**藤伸一議員**

空き家対策について

## 藤伸一議員



藤議員

### 問. 空き家等の適正管理に関する条例の制定の取り組みは。

答. 早急に担当課を決め、研究・調査していく。

**質** 特に旧炭鉱住宅の空き家が点在しており、調査によると、旧稲築地区の平東行政区（空き家率22.8%）、緑ヶ丘行政区（空き家率29.4%）、漆生東行政区域（空き家率41.2%）となつており、防災、防犯の観点から空き家の適正管理を行う条例の制定が喫緊の課題と考えるが。

**福田総務課長** 担当部署を明確にして、市民に分かり替えていく答弁だつたが、その後の進捗状況は。

**質** 本年6月議会で、防犯灯をLED照明に切り替えていく答弁だつたが、その後の進捗状況は。

**総務課長** 平成25年度当初予算を一部投入し、LEDに切り替えるためには、約1億1,000万円の初期費用が必要となるが、初期費用を削減するためにリース方式の導入の考えは。

**総務課長** 近隣自治体にも先進事例があるのでも、精査して今後リード入を積極的に検討すべきと考えるが。

**市長** 防犯灯こそ節減のため、LED照明に変えていく必要があるとを考えている。同時に

**嘉麻赤十字病院の建て替え及び存続について**

**質** 総合的病院及び救急医療・災害拠点病院として医療施設の充実を図ること。建て替えを図ることを図ることを行政区長連合会の協力を得て、山田地区に重要な病院であり、今後、行政・議会・市民が一体となって取り組む必要がある。

**市長** 日赤病院は非常に重要な病院であり、

名で陳情した。今後の取り組みはどうするの

が安心して暮らせるよ

うな部分の一助となる

条例を制定すべきと考

えている。

**松岡市長** 早急に担当

課を決め、研究・調査

を行っていく。

**質** 嘉麻市全体で、防

犯灯が約5,500基

設置されており、

LEDに切り替えるた

めには、約1億1,

000万円の初期費用

が必要となるが、初期

費用を削減するために

リース方式の導入の考

えは。

**総務課長** 近隣自治体

にも先進事例があるの

で、精査して今後リ

ード入を積極的に検討すべ

りと考えるが。

**市長** 防犯灯こそ節減

のため、LED照明に

変えていく必要があ

ると考えている。同時

にエネルギー政策の大

きな転換が課題となつて

おり、また、社会全体

で考えなければならな

いテーマであると考え

ている。省エネ対策と

エネルギー政策の大

きな転換が課題となつて

おり、また、社会全体

で考えなければならな

いテーマであると考え

ている。

**質** 現在、日本では、

</

田中 日本明 議員

## 庁舎建設について

### 問. 総合支所方式で 行政改革が進むのか

答. 庁舎問題を含め、総合的に考える必要がある



田中議員

**質** 先般の庁舎特別委員会で、建設するなら稲築地区でという結果が出たがその結果について、市長はどの様に考えるか。

**質** 嘉麻市としては10年、20年を見据えた中で、庁舎問題を考える必要がある。総合支所方式で本当に行政改革が進むのか。

**市長** 総合支所を無くしたら地域が疲弊する心配があるので、総合的に考える必要がある。

**質** 総合支所、分庁方式では職員400人体制は出来ないと思うが、

**市長** 集約しても職員数は変わらないと思う、福祉面も含め慎重に府

**要望** 行政改革を進め  
るには職員の定数ある  
いは廃止問題は重要案  
件だと思うし、今後の  
嘉麻市がいかにあるべ  
きか、いかにすべきか  
将来の展望を踏まえて  
の取り組みを望む。

**田中人事課長**　國の基準、他市の状況と均衡を図つて協議を進め現在に至つている。

**質**　給与構造改革に伴う経過措置は、2013年の4月に廃止といふ勧告がなされているが、国家公務員並みに即廃止は出来ないのでないか。

**人事課長**　県および他の公共団体の動向を見て、十分協議を進めて、経過措置対象職員は公平に取り扱わなければ



碓井庄舎

赤間 幸弘 議員

## 通学路及び学校施設の安全対策について

## 問. 街灯・防犯灯の整備及び 学校施設の危険箇所について

答. 児童生徒の安全・安心の確保は重要な問題であり、今後十分に取り組んでいく必要がある



赤間議員

質 通学路の危険箇所が、市内には15カ所あり、交通安全対策交付金等を活用し、平成25年度から改善する予定と聞いています。通学路の安全対策は道路だけではなく、街灯・防犯灯も含まれるが、街灯設置の要望や教育委員会での独自の調査は行っているのか。

かつたため、嘉麻市独自で調査した結果、13カ所63本の設置要望が上がっている。昨年度は夢サイトかほ周辺の街灯設置を要求し、5灯設置できた。

クリート片が剥がれ落ち、児童が擦り傷を負ったという新聞報道があつた。嘉麻市では、学校施設の調査は行っているのか。

危険を及ぼす箇所の報告はなかつたが、雨漏り等で床が滑りやすくなつてゐるという箇所の報告はあつた。

**質** 子どもたちの安全・安心が第一と言つてゐるが、安全・安心のまちづくりの観点から、学校施設、通学路街灯の問題については今後どのように対処するのか。

**松岡市長** 安全確保のために再点検が必要であり、児童の安全・安



# いこばん質問

## 田淵 千恵子 議員

教育行政について

### 問. いじめ問題について

答. いじめは犯罪である  
という認識を必要とする



田淵議員

**質** 生徒の自殺までに至った大津市のいじめ問題を契機に、いじめに関する全国緊急調査が行われた。結果は14万件と発表され、都道府県により解釈の相違から格差がでているもの、福岡県は4月からの半年間で540件としているが、本市においての実態はどうなっているか。

**福永学校教育課長** 小学校3件、中学校4件の事例があがつてきた。

**質** いじめを生きない土壌づくりが最重要と考えるが、本市においての実態はどうなっているか。

**学校教育課長** 内外問わず、児童、生徒が一定の者から心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じている

**質** いじめを生きない内容としては「冷やかされたり、いやなことをいわれたりする」などの行為だが、早期発見、早期対応が効を奏し、すべて解決済みだ。

**学校教育課長** アンケートによる実態把握や

**質** いじめを生きないスクールカウンセラーを持ち、日頃から未然防止や早期発見に努め、いじめが発生した時に問題を隠さず、迅速かつ適切な対応がなされるよう指導している。

**学校教育課長** アンケートによる実態把握や

**質** いじめは絶対許されない。どの子にも起り得るという緊迫感がある。

※このほか特定健診について質問をしました。

**市長** 愛情を注ぎ、幼

## 山本 幹雄 議員

遠賀川内の固定堰の改修について

### 問. 稲築地内の洗越堰の改修はいつか

答. 下流から施工予定  
であるので3番目となる



山本議員

**質** 次には洗越堰の改修にかかると言っていたがどうか。

**有田農林整備課長** 要望は今も行っている。

**質** 川事務所に要望を行つた。平成15年に飯塚の大水害があり、この被害を受けて今後の改修は順次下流から実施予

**農林整備課長** であれば水位は低くなることが予想される。

**質** 昨年6月22日に請願書が提出され、9月の民生文教委員会にて、市長から、課題の整理について

**質** ことと定義している。また、いじめに対する基本認識の一つにどの学校、どの子にも起こりうるという危機意識を持つ、日頃から未然防止や早期発見に努め、いじめが発生した時に問題を隠さず、迅速かつ適切な対応がなされるよう指導している。

**質** 今後はいじめは犯罪という認識を深める必要がある。

※このほか特定健診について質問をしました。



洗越堰

国土交通省への改修要望を稲築町時代は毎年していたが、今はどうなっているのか。

**質** 7月14日の大雨で稲築上黒田の住宅の家屋浸水や農作物の被害もあつた。河川内の固定堰を可動堰に改修することにより、大雨時の水位は下がり被害は解消されると思うがどう考えるか。

一概には言えないと思

う。が条例を制定するとい

う回答があつたが、その後の事務の進捗はどうか。

**松岡市長** 今回の被害は過去に例のなかつた豪雨によるものとはい

え、先々異常気象で再び発生する恐れもある。住民の安全安心を守るために、引き続き粘り強く陳情を続けていく。

**平嶋環境課長** 地域の方々の生活圏もある井戸水や地下水を守るという条例は必要だと考えている。現在、上位法との関係や法的な規制がどこまで出来るのか、今後環境審議会の意見を取り入れながら、3月議会には提案できるよう努力してい

く。  
※このほか①各学校における教材開発アドバイザリーについて②全国学力学習状況調査の結果についての質問を行いました。